

クラブ内表彰

1998. 12.



- ◇社会貢献賞
兼丸道子氏
- ◇女性ボランティア賞
丸山光代氏
- ◇青少年ボランティア賞
慶誠高等学校生徒会

Cherry Blossom

あ、新しい患者さん。小さな体、心なしかうつろで悲しい瞳に胸が痛みます。私達40名の会員による月々120枚のおむつ縫いが、ここで役に立っていました。もう使い古されて洗いざらされて黄色くなりボロボロになっても7枚を1組にセットされ、この患者さん達の生活を守っています。もう少しがんばればよかったと思う気持ちで一杯でした。

(保健奉仕委員会)



Information

5周年を記念して
今年度より継続して支援していきます。

♥アンコール・フレンズ基金

地雷や小児伝染病の子供達のために設立されたカンボジアの「アンコール小児病院」を維持するための基金

♥里親基金

タイのチェンマイの山岳地帯の子供たちの里親となり食費・教育費を援助するための基金

1998. 9~1999. 6

役員名

会長	関 幸枝
副会長	須古久美子 山縣カズヨ
コーディネーティング	小齊 幸代
プロモーション	藤原美智子
セクレタリー	小笠原明子
トレジャラー	岩田 圭代
アシスタント	田中 英子
トレジャラー	田中扶慈子
1年理事	出田 節子
2年理事	
デレゲート	

発行

1999年6月30日
国際ソロプチミスト熊本-さくら
広報委員 壺原佳江 成松真理子
例会日時/毎月第3水曜日
10:00~12:00
例会場/ホテルニューオータニ熊本
TEL(096)326-1111



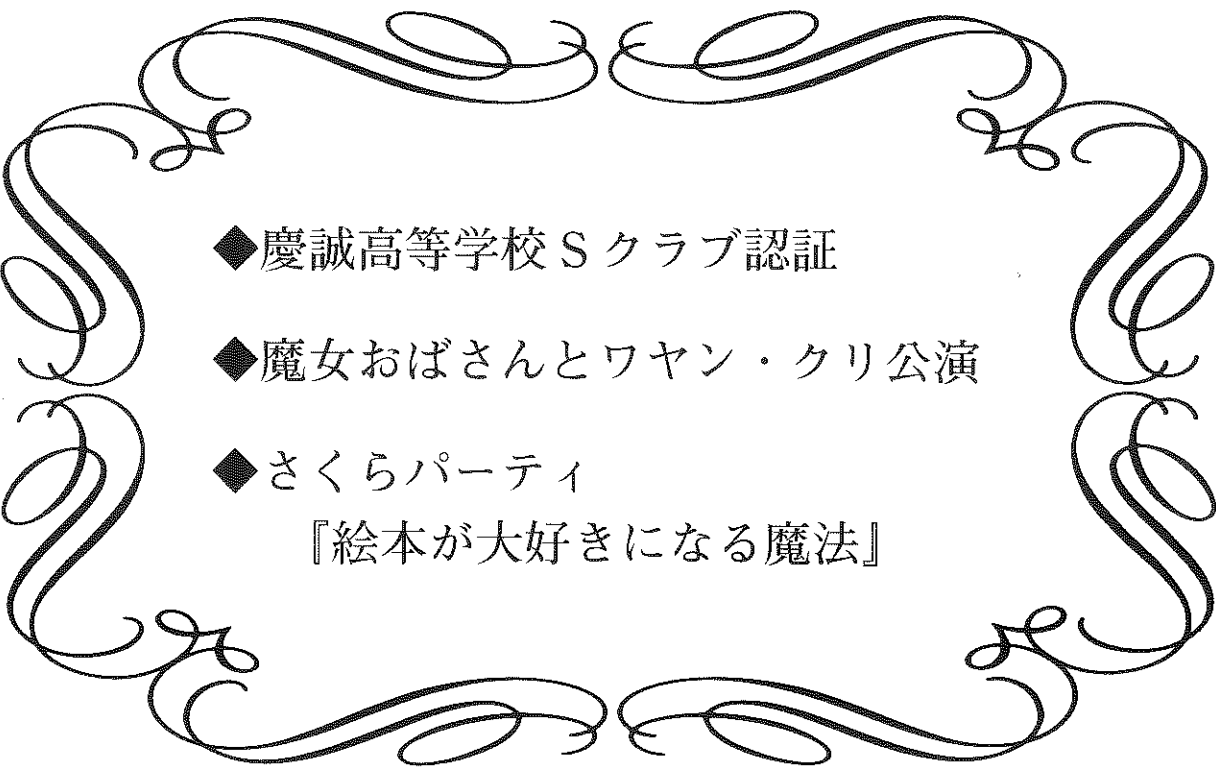
私たちの歩み No.3

'98年9月~'99年6月活動報告

5周年記念

国際ソロプチミスト
熊本-さくら

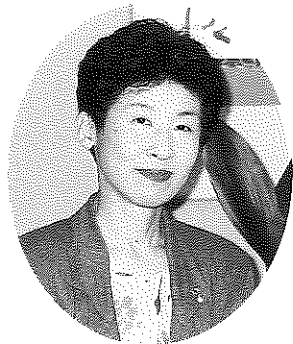
5周年記念事業



Sクラブ認証 1998.11.



5期目の会長を終えて



会長 関 幸枝

認証5周年を迎え会員お互いに「おめでとう」と、祝いましょう。

今年度、私は会員同志理解しあい助け合う努力のもとに、和やかな雰囲気の中でクラブでありたいということを念頭に置いて会をすすめてまいりました。

リジョン本部の年度改正のため、今年度は10ヶ月間の任期となり、1年の事業計画をやり通すのに忙しく、ゆっくりと余裕を持った会員同志のふれあいの時間をとれなかったのが心残りです。

しかし、5周年記念として、慶誠高校Sクラブ

の認証、有田道子氏の講演とワヤン・クリの公演の歳入事業、3委員会合同のさくらパーティー等々、会員皆の知恵を出し力を出し合い、おかげですばらしい成果を得ることができました。活動を通して、会員間の理解も深まったことと思います。

リジョン大会では、それらの事を発表する機会も与えて頂き、又、スポンサーシップ賞も、皆の代表としてうれしい受賞をいたしました。

理事会は1年間で交替いたしますが、クラブとしての継続性を考え、活発な意見を出し合いながら、10年、15年、20年と目標を持ち、会員それぞれが、「私のクラブよ」と誇れるようになってほしいのです。

最後に、姉妹クラブの皆様のご指導ご協力に感謝し、皆様よりの沢山の思いやりをありがとうございました。

S | 熊本-さくらは、今年創立5周年を迎えました。その記念事業として、高校生の友情・リーダーシップを育み学校及び地域社会へ奉仕するボランティアグループである、Sクラブを認証、スポンサーすることに致しました。

幸いにも、生徒会を中心に活発なボランティア活動をされている慶誠高等学校を、当クラブで前年度の青少年ボランティア賞に推薦し、クラブ内表彰を行っておりました。

その際、学校長及び関係者の先生方にソロプチミストの活動をよく理解して頂いていた事が、慶誠高

等学校Sクラブの認証へと繋がったようです。

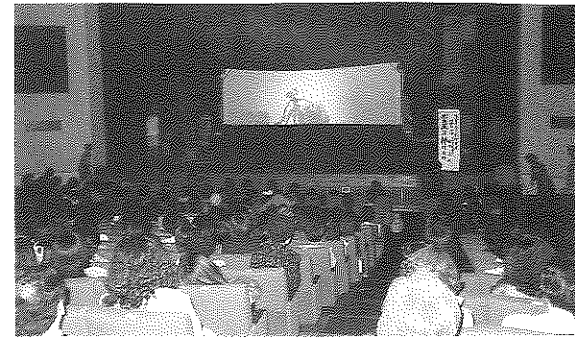
11月7日、慶誠高等学校に於いて校長先生や来賓の方々の前で、慶誠高等学校Sクラブの認証式を行い、21名のSクラブ会員が誕生致しました。

その後、私共クラブと一緒に障害者のクリスマス会への参加や、街頭募金等の活動をしています。

今後も、地域社会や多くの人々に親しまれる活動を通じて、Sクラブが育っていきますよう、担当の先生の協力に感謝しながら、応援を続けていきたいと思っております。

魔女おばさんとワヤン・クリ公演

1999. 4.



歳入委員会の最大の関心事は“催しもの”の提案と実行です。本年は認証5周年の節目であることから、これまでの活動の外部へのPR効果も考えました。又、会員が心をつにして歳入事業の達成に努力することで、友情が深まるよう願いました。

「子供が絵本を好きになる魔法をかける魔女おばさん」の有田道子氏は、普通の二児の母親でした。子供に『愛している』という代わりに本を読んであげてを、20年以上実践している人です。

インドネシアの伝統芸能である影絵（ワヤン・クリ）は、日本ワヤン協会の松本亮氏によれば「人間の心に映る影」なのだそうです。それも上演したいという欲張った企画になりました。

今まで熊本では催されていなかったものです。

有意義で楽しいものを開催して、気軽な料金で見ていただきたいとの会員の思いが実りました。

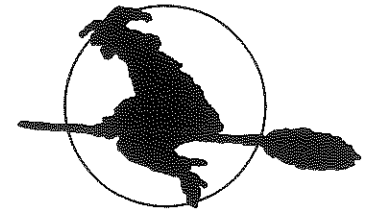
心を寄せ、それぞれが独自の技能を發揮し、お客様を巻き込んだ夢のような舞台が実現しました。

この事業の成功は、会員全員の温かい協力の賜と深く感謝しています。

(歳入委員会)

さくらパーティ

1999. 4.



4月28日、熊本市子ども文化会館に於いて『第二回さくらパーティ』を開催しました。

絵本の読み聞かせの（とんがり帽子に黒い服、手には長ぼうきを持った魔女姿の）有田道子氏を講師に迎え、熊本信愛女学院幼稚園の年長児の皆さん約60名、幼稚園の先生方や保護者の方々、絵本に関心をお持ちの一般の方々も含め約80名に参加して頂きました。

1時間を越す魔女おばさんのユーモラスで表情たっぷりのお話に園児の皆さんは瞳をキラキラ輝かせながら熱心に聞き入り、大変暖かい雰囲気の中でさくらパーティが進行しました。前日の公演に続き2日連続の活動にもかかわらず、さくら会員も殆ど出席し、会場全体がアットホームな笑い声に包まれました。

(教育奉仕・環境奉仕・国際親善と理解活動委員会)

1998年9月～1999年6月



主な活動

- 赤い羽根共同募金
- 東部環境工場見学
- 慶誠高等学校 S クラブ認証
- チャリティバザー
- ソロプチミスト日本財団年次大会
- クラブ内表彰
- ふれあいワークのクリスマス会
- ハンド・イン・ハンド街頭募金
- 魔女おばさんとワヤン・クリ公演
- さくらパーティ「絵本が大好きになる魔法」
- 第13回日本南リジョン大会
- ユースフォーラム熊本選考会

継続奉仕活動

- ふれあいワーク訪問
- おむつ縫い

環境工場見学

1998. 10.

収集されるゴミ処理のために、最も近代的設備が整った東部環境工場を見学してゴミの分別がいかに大切かを再確認し、環境に優しい生活を、日常一人一人が自覚しながら実行していく必要があることを痛感しました。

(環境奉仕委員会)



ふれあいワークのクリスマス会

1998. 12.

12月13日、竜田市民センターに於いて、ふれあいワークのクリスマス会が行われました。会員は慶誠高等学校Sクラブのメンバーとともに参加し、影絵・手あそび・パネルシアター・ジャンケン遊びなど盛りだくさんの内容で楽しいひとときを過ごしました。吉良会員による障害者のための「歯磨き指導」もあり、会場はとてにぎわいました。

(経済的社会的開発奉仕委員会)



ユースフォーラム

1999. 5.

5月29日、熊本市の産業文化会館で、国際ソロプチミスト熊本、すみれ、さくらの3クラブ合同によるユースフォーラムの選考会が開催されました。

ユースフォーラムは、1980年に始まり、2年に一度開かれています。南リジョンでは、8回目の開催になります。今回の選考会には、熊本市の女子高生13名が出場しました。

「21世紀に羽ばたく私のアイデア～夢、希望そして奉仕」をテーマに、ホームステイやボランティアの体験談、自分自身の将来希望する職業、真の国際人についてや、21世紀への展望などを、前半は日本語で、後半は英語によるディスカッションで活発な意見が交わされました。



参加者からは、「非常に勉強になった。このような機会を与えて下さったことに感謝します。」「もっと英語を勉強したくなった。」という率直な感想が聞かれました。

さくらクラブが推薦した野中麻里子さん(熊本高校3年)を含む代表者3名は7月23日福岡で行われる九州大会に出場します。

(国際親善と理解活動・教育奉仕・Σ/S スポンサーシップ委員会)